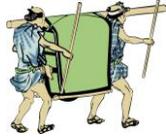


関東 ⇄ 関西

どのくらいかかったの？ 時代別所要時間比較

江戸時代



14日間



* 歩きました。たまには駕籠も・・・

幕末（江戸時代）

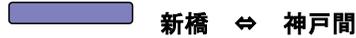
2～3日



* 蒸気船を使ってスピードアップ！

明治時代（1889）

20時間5分

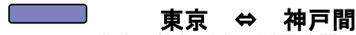


新橋 ⇄ 神戸間

* 関東と関西がはじめて一本の線路でつながり、現東海道本線が、この年全線開通しました。

大正時代（1921）

11時間50分



東京 ⇄ 神戸間

* 当時の特急列車の所要時間です。

昭和時代（戦前）（1930）

9時間



東京 ⇄ 神戸間

8時間20分

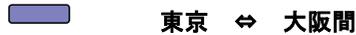


東京 ⇄ 大阪間

* 特急「燕」が運行を開始し、大幅に時間が短縮されました。
東京⇄大阪間8時間台は驚異的な高速運転で、当時「燕」は超特急とよばれました。

昭和時代（戦後）（1950）

8時間



東京 ⇄ 大阪間

* 特急「つばめ」が6年ぶりに復活しました。



昭和時代（戦後）（1958）

6時間50分



東京 ⇄ 大阪間

* 国鉄初の電車特急「こだま」が、ビジネス特急という触れ込みで登場しました。
東京7時発の「第1こだま」、大阪16時発の「第2こだま」を使えば、東京⇄大阪間が日帰り可能な時代が到来しました。



昭和時代（戦後）（1964）

4時間



東京 ⇄ 新大阪間

* 「東京オリンピック」開催に合わせて、10月に運行が始まりました。

昭和時代（戦後）（1965）

3時間10分



東京 ⇄ 新大阪間

* 建設当初の計画通り、この年から3時間10分の営業運転がスタートしました。

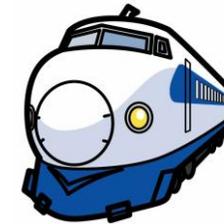
平成時代（1992）

2時間30分



東京 ⇄ 新大阪間

* 300系「のぞみ」が登場しました。



近未来（2045）（予定）

1時間7分



品川 ⇄ 新大阪間

* リニア新幹線開通の暁には、ほぼ1時間で関東と関西を行き来できるようになります。